

2026年3月期 第1四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の評価損益 (繰延ヘッジ考慮後)	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	4
	(2) 第四北越銀行 単体	4
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	5

- (注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 前年同期比、2024年6月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
3. 自己資本比率につきましては、現在算出中につき、確定次第開示致します。

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益は、前年同期比16億円増益の319億円となりました。
 その他業務利益は13億円減益となりましたが、資金利益が26億円増益となったほか、役務取引等利益も4億円増益となりました。

○経常利益は、前年同期比27億円増益の175億円となりました。
 営業経費は5億円増加しましたが、連結粗利益の増益に加え、株式等関係損益が19億円増加しました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比20億円増益の127億円となりました。
 特別損益は1億円減少し、法人税等の税金関係費用は5億円増加しました。
 なお、第2四半期の予想値(161億円)に対する進捗率は79.4%、通期の予想値(330億円)に対する進捗率は38.7%となっております。

(単位:百万円)

		2026年3月期		2025年3月期	(参考) 2025年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
連結粗利益	1	31,974	1,695	30,279	103,586
資金利益	2	23,831	2,680	21,151	73,584
役務取引等利益	3	6,245	405	5,840	25,258
その他業務利益	4	1,897	△1,390	3,287	4,743
営業経費(△)	5	16,539	593	15,946	62,661
貸倒償却引当費用(△)	6	1,364	41	1,323	5,560
貸出金償却(△)	7	152	76	76	894
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	1,239	191	1,048	4,939
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	△158	△117	△41	△892
延滞債権等売却損(△)	10	—	△0	0	72
その他(△)	11	129	△111	240	546
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	356	23	333	835
株式等関係損益	14	2,552	1,907	645	3,260
その他	15	527	△260	787	1,651
経常利益	【234億円】 16	17,506	2,730	14,776	41,112
特別損益	17	195	△129	324	63
固定資産処分損益	18	97	△247	344	146
その他	19	98	118	△20	△83
税金等調整前四半期(当期)純利益	20	17,702	2,601	15,101	41,176
法人税、住民税及び事業税(△)	21	4,009	1,157	2,852	10,524
法人税等調整額(△)	22	906	△591	1,497	1,300
四半期(当期)純利益	23	12,786	2,035	10,751	29,350
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失(△)	24	△0	△0	0	0
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 【161億円】	25	12,786	2,035	10,751	29,349

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益 + 信託報酬 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2026年3月期第2四半期予想値(2025年5月9日公表値)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	26	15,080	1,224	13,856	39,850
--------	----	--------	-------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

- コア業務粗利益は、前年同期比17億円増益の290億円となりました。
- ・資金利益は、預金利息が増加した一方、貸出金利息が貸出金平残の増加および貸出金利回りの上昇により増加したことを主因に、前年同期比26億円増益の235億円となりました。
 - ・役務取引等利益は、M&A手数料や融資関連手数料などが増加したことを主因に前年同期比5億円増益の39億円となりました。
 - ・その他業務利益（除く国債等債券損益）は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引に伴う収益の減少を主因に前年同期比14億円減益の16億円となりました。
- コア業務純益は、前年同期比13億円増益の136億円となりました。
- ・経費は、人件費を中心に4億円増加しました。
- 経常利益は、前年同期比32億円増益の167億円となりました。
- ・ネット信用コストおよび国債等債券損益はほぼ横ばいでしたが、株式売却益の増加により株式等関係損益は19億円増加しました。
- 四半期純利益は、前年同期比20億円増益の119億円となりました。

(単位:百万円)

		2026年3月期		2025年3月期	(参考) 2025年3月期	
		第1四半期	前年同期比	第1四半期		
業務粗利益	1	28,830	1,741	27,089	90,844	
(コア業務粗利益)	2	(29,096)	(1,784)	(27,312)	(98,313)	
資金利益	3	23,582	2,681	20,901	72,658	
うち投資信託解約損益	4	874	△1,783	2,657	2,036	
役務取引等利益	5	3,913	524	3,389	15,478	
その他業務利益	6	1,333	△1,465	2,798	2,707	
うち国債等債券損益	7	△266	△44	△222	△7,468	
経費（除く臨時処理分）(△)	8	15,404	466	14,938	58,570	
うち人件費(△)	9	7,903	322	7,581	30,529	
うち物件費(△)	10	6,525	127	6,398	24,578	
実質業務純益	11	13,426	1,275	12,151	32,274	
(コア業務純益)	12	【211億円】	(1,318)	(12,374)	(39,743)	
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(12,818)	(3,102)	(9,716)	(37,706)	
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	△187	△137	△50	△957	
業務純益	15	13,614	1,412	12,202	33,232	
(金銭の信託運用見合費用)(△)	16	(1)	(1)	(0)	(2)	
臨時損益	17	3,115	1,818	1,297	1,898	
不良債権処理額(△)②	18	978	107	871	5,508	
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	19	(791)	(△30)	(821)	(4,550)	
貸倒引当金戻入益	20	—	—	—	—	
偶発損失引当金戻入益	21	—	△81	81	206	
償却債権取立益	22	352	20	332	831	
株式等関係損益	23	2,510	1,967	543	2,927	
その他の臨時損益	24	1,230	19	1,211	3,442	
経常利益	25	【208億円】	3,228	13,499	35,127	
特別損益	26	61	△265	326	67	
うち固定資産処分損益	27	61	△283	344	144	
うち減損損失(△)	28	—	△18	18	90	
税引前四半期(当期)純利益	29	16,788	2,962	13,826	35,195	
法人税、住民税及び事業税(△)	30	3,640	1,166	2,474	8,803	
法人税等調整額(△)	31	1,232	△261	1,493	1,149	
四半期(当期)純利益	32	【143億円】	2,057	9,858	25,242	
(参考)						
ネット信用コスト(△)	14+18-20-21-22	33	438	32	406	3,513

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益
 2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（除く臨時処理分）
 4. 【 】は2026年3月期第2四半期予想値（2025年5月9日公表値）

2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

○不良債権額は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期末比2.8億円減少し1,176億円、第四北越銀行単体で前年同期末比3.1億円減少し1,161億円となりました。

○不良債権比率は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期末比0.11ポイント低下の2.07%、第四北越銀行単体で前年同期末比0.11ポイント低下の2.03%となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

	2025年6月末		2024年6月末	(単位:億円)
		2024年6月末比		(参考) 2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	76	10	66	74
危険債権	1,061	△ 26	1,087	1,077
要管理債権	38	△ 12	50	43
三月以上延滞債権額	5	△ 5	10	9
貸出条件緩和債権額	32	△ 7	39	33
小計 (A)	1,176	△ 28	1,204	1,195
正常債権	55,582	1,578	54,004	55,622
債権額合計 (B)	56,759	1,551	55,208	56,817
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.07%	△ 0.11%	2.18%	2.10%

(2) 第四北越銀行 単体

	2025年6月末		2024年6月末	(単位:億円)
		2024年6月末比		(参考) 2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	65	10	55	64
危険債権	1,058	△ 28	1,086	1,074
要管理債権	38	△ 12	50	43
三月以上延滞債権額	5	△ 5	10	9
貸出条件緩和債権額	32	△ 7	39	33
小計 (A)	1,161	△ 31	1,192	1,182
正常債権	55,948	1,660	54,288	55,972
債権額合計 (B)	57,110	1,630	55,480	57,154
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.03%	△ 0.11%	2.14%	2.06%

3. 有価証券の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)

○第四北越フィナンシャルグループ連結の有価証券全体の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)は169億円の含み益、第四北越銀行単体の有価証券全体の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)は168億円の含み益となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円)

	2025年6月末				2024年6月末				(参考) 2025年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,407	△31	0	31	1,376	△13	—	13	1,392	△39	—	39
その他有価証券	26,074	200	1,562	1,361	28,173	351	1,905	1,554	27,482	103	1,598	1,494
株式	2,095	1,006	1,018	11	2,154	1,084	1,087	3	2,026	944	956	12
債券※	13,967	△602	61	664	14,116	△446	133	580	13,294	△640	118	759
その他	10,011	△203	482	685	11,902	△285	684	969	12,162	△200	522	722
うち外国証券※	6,887	△230	294	524	7,573	△292	462	755	7,548	△182	312	494
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	27,482	169	1,562	1,392	29,550	337	1,905	1,567	28,875	64	1,598	1,534

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円)

	2025年6月末				2024年6月末				(参考) 2025年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,392	△31	—	31	1,376	△13	—	13	1,392	△39	—	39
その他有価証券	25,896	199	1,554	1,354	27,986	338	1,893	1,554	27,307	105	1,592	1,487
株式	1,917	997	1,007	9	1,967	1,067	1,070	2	1,851	938	948	9
債券※	13,967	△598	61	660	14,116	△440	134	575	13,294	△636	118	755
その他	10,011	△200	485	685	11,902	△287	688	976	12,162	△197	525	722
うち外国証券※	6,887	△230	294	524	7,573	△293	462	756	7,548	△182	312	494
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	27,289	168	1,554	1,386	29,362	325	1,893	1,568	28,700	65	1,592	1,526

※債券及び外国証券については、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は繰延ヘッジ考慮後の計数を記載しております。

4. 預金等、貸出金残高

第四北越銀行 単体

○貸出金の期末残高は、前年同期末比1,823億円増加し、5兆6,119億円となりました。
 ・県内事業性貸出残高は、実質無利子融資の返済継続や設備資金の減少などを主因に減少しましたが、県外事業性貸出残高が、資金需要のある大企業向け貸出やストラクチャードファイナンスが増加したことなどから、事業性貸出全体では前年同期末比増加しました。
 ・消費性貸出は、非対面チャネルの利便性向上や商品ラインアップの増強などにより、住宅ローン及び無担保ローンのいずれも前年同期末比増加しました。
 ○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期末比103億円減少し、8兆7,141億円となりました。

(単位:億円)

	2025年6月末		2024年6月末	(参考) 2025年3月末
		2024年6月末比		
貸出金残高	56,119	1,823	54,296	56,143
県内事業性貸出残高	16,657	△121	16,778	16,903
うち中小企業向け貸出残高	13,438	△239	13,677	13,780
県外事業性貸出残高	17,771	2,732	15,039	17,170
うち中小企業向け貸出残高	6,328	659	5,669	6,106
消費性貸出残高	15,237	286	14,951	15,172
公金貸出残高	6,452	△1,075	7,527	6,896
預金等残高	87,141	△103	87,244	87,803
うち県内預金等残高	85,344	△60	85,404	86,080
うち個人預金等残高	57,489	△375	57,864	57,114

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金

5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

第四北越銀行 単体

○預かり資産残高は前年同期末比667億円増加し、1兆781億円となりました。
 投資信託は41億円、公共債は249億円、保険は376億円それぞれ増加しました。

(単位:億円)

	2025年6月末		2024年6月末	(参考) 2025年3月末
		2024年6月末比		
預かり資産残高	10,781	667	10,114	10,316
投資信託	2,067	41	2,026	1,940
公共債	932	249	683	726
保険	7,781	376	7,405	7,649
(参考) 第四北越証券	5,394	195	5,199	5,059

以 上